

【事務情報科】 2年次 【選択】科目「ITパスポート」授業のシラバス

1 概要

教科名	商業	科目名	ITパスポート	単位数(コマ数)	3(117)
科目の目標	利用する情報機器及びシステムを把握し活用する能力や、企業における業務を理解してその業務における問題の把握及び必要な解決能力、安全に情報の収集や活用できる能力及び、業務の分析やシステム化の支援ができる能力や態度を育てる。				
教科書(出版社)		副教材(出版社)	イメージ&クレバー方式でよくわかる 栢木先生のITパスポート教室(技術評論社)		

2 学習の方法

(1) 予習について

教科担当の先生の指示に従ってください。

(2) 授業について

毎時間の授業を大切に集中して取り組んでください。疑問点は遠慮なく質問してください。

教科担当の先生の指示に従い、授業で使用するものを確認してください。もし忘れた場合は、授業が始まる前に教科担当の先生に申し出てください。

この授業で使うファイルは「プラスチックの緑」です。

(3) 復習について

Web上の学習支援サイトを紹介しますので、自ら進んで復習に取り組んでください。

〈学習アドバイス〉

CBT方式のITパスポート試験は、ほぼ1年中受験できます。1年間の積み重ねが結果につながりますので、日々の授業を大切に組み込んでください。

全商情報処理検定ビジネス情報部門2級、プログラミング部門2級、ビジネス情報部門1級との関連性も高い科目です。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	授業に対する準備を怠らず、企業における情報化推進を担う人物になるために積極的に授業に参加している。
② 思考・判断・表現	業務の問題把握及び必要な解決を図るために、体系的な考え方や論理的な思考力が身に付いている。
③ 技能	情報機器及びシステムを把握するために、コンピュータシステムやネットワークに関する知識をもち、オフィスツールを活用する技能が身に付いている。
④ 知識・理解	企業活動や関連業務に関する知識だけでなく、業務の分析やシステム化の支援を行うために情報システムの開発及び運用に関する知識を身に付け、安全に情報を活用するために関連法規や情報セキュリティに関する各種規定を理解している。

(2) 評価の方法(以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

評価材料		定期考査・確認テスト		小テスト	提出物	課題
観 点	割合					
① 関心・意欲・態度	10%	△	その分野が日常生活にどのように活かされているかを問うことがあります。		○	◎
② 思考・判断・表現	25%	◎	企業における情報化推進の実際を、業務の理解をふまえた論理的思考によって考察し、的確に表現できるか。	○	○	
③ 技能	40%	◎	情報処理技術者試験ITパスポートレベルの問題が解けるかどうか。	○	○	○
④ 知識・理解	25%	◎	情報処理技術者試験ITパスポートレベルの問題が解けるかどうか。	○	○	

〈担当者からのメッセージ〉

- 卒業後、社会の即戦力になれるよう、情報技術に関するスキルを身に付けてください。

4 授業計画

【事務情報科】 2年次 【選択】 科目「ITパスポート」授業のシラバス

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	第1部 コンピュータシステム 第1章 ハードウェア	9	コンピュータの種類/入力装置/出力装置/コンピュータの基本構成/プロセッサ/メモリ/補助記憶装置	①	コンピュータシステムに関心をもち、意欲的に取り組むことができる。	前期中間考查
5	第2章 基礎理論	12	記憶階層/入出力インタフェース情報(データ)の表現/文字コード/2進数/集合/論理演算/確率/統計/待ち行列理論/グラフ理論	② ③	五大装置やデータ表現について、自ら思考を深め、成果を適切に表現することができる。	
6	第3章 ソフトウェア		オペレーティングシステム/OSの種類/ファイルシステム/バックアップ/ソフトウェアパッケージ/ワープロソフト/表計算ソフト/オープンソースソフトウェア	④	プロセッサや2進数、稼働率に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、的確に処理することができる。	
7	第4章 システム構成	9	システムの形態/システムの構成/システムの評価指標/稼働率		ハードウェアやソフトウェアに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、コンピュータシステムの基本的な考え方・処理方法などを理解することができる。	
8	第2部 コンピュータの技術要素 第1章 データベース	12	関係データベースの設計/データの正規化/関係データベースの操作/DBMS(データベースの保全機能)/DBMS(データベースのリカバリ機能)	①	コンピュータの技術要素に関心をもち、意欲的に取り組むことができる。	前期期末考查
9	第2章 ネットワーク	6	ネットワークの基本構成/LAN 間接続装置/通信プロトコル/インターネットの仕組み/インターネットのサービス/通信サービス	② ③	LANやインターネットについて、自ら思考を深め、成果を適切に表現することができる。	
10	第3章 情報セキュリティ	9	情報セキュリティの脅威/情報セキュリティ管理/情報セキュリティ対策/アクセス制御/暗号化/デジタル署名	④	SQLや暗号、符号化、圧縮などに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、的確に処理することができる。	
11	第4章 マルチメディアとヒューマンインタフェース	9	マルチメディア技術/マルチメディアのファイル形式/グラフィックス処理/マルチメディア技術の応用/ヒューマンインタフェース/画面設計/帳票設計/Web デザイン		情報セキュリティやマルチメディアに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、コンピュータの技術要素についての基本的な考え方・処理方法などを理解することができる。	
後期 10	第3部 システム開発 第1章 アルゴリズムとプログラミング	15	データ構造/アルゴリズム/合計/探索/整列/プログラム言語/マークアップ言語	① ②	システム開発に関心をもち、意欲的に取り組むことができる。	後期中間考查
11	第2章 システム技術開発	15	システム開発工程/ソフトウェア開発工程/ソフトウェア開発管理技術/テスト工程/ソフトウェア導入・受入れ工程	③ ④	データ構造や開発、テストについて、自ら思考を深め、成果を適切に表現することができる。	
12	第3章 プロジェクトマネジメントとサービスマネジメント	15	プロジェクトマネジメント/プロジェクト・タイム・マネジメント/その他の知識エリア/サービスマネジメント/サービスサポート/サービスデリバリ/ファシリティマネジメント/監査業務/内部統制		アルゴリズムやプロジェクトマネジメントに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、的確に処理することができる。	
1	第4部 企業活動と情報システム 第1章 企業と法務	9	企業活動/経営組織/業務分析/問題解決手法/意思決定/企業会計/知的財産権/セキュリティ・労働・取引の関連法規/ガイドライン・技術者倫理/標準化関連	① ② ③	プログラミングや監査、内部統制に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、システム開発についての基本的な考え方・処理方法などを理解することができる。	
2	第2章 経営戦略	6	経営戦略/経営情報分析手法/マーケティング/ビジネス戦略/技術開発戦略/経営管理システム/ビジネスシステム/エンジニアリングシステム/e-ビジネス/民生機器/産業機器	④	企業活動と情報システムに関心をもち、意欲的に取り組むことができる。	後期期末考查
3	第3章 システム戦略	9	情報システム戦略/業務プロセスの調査・分析/業務改善/ソリューションビジネス/システム企画		エンジニアリングシステムやシステム企画について、自ら思考を深め、成果を適切に表現することができる。	
3		6			企業会計や意思決定に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、的確に処理することができる。	
		計 117				

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は思考・判断・表現、③は技能、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。